

会社名 和歌山刑務所
お名前 T. K さん

職種 法務事務官看守
出身 大阪樟蔭女子大学

(平成 28 年 心理学部 発達教育心理学科)

施設の概要



犯罪に戻さない。

安全で安心な社会を実現するために。



所在地：和歌山県和歌山市加納 383

法務省矯正局の大阪矯正管区に属する刑務所で、全国に 11 か所ある女子を収容する刑務所のひとつ。約 400 名の女子受刑者を収容している。

仕事の内容

◇どんな仕事

和歌山刑務所は女子受刑者を収容する施設ですが、私が採用された当初は実際に女子受刑者に接し、彼女らの生活指導を行っていく処遇部門に所属していました。処遇部門では、受刑者に対する生活指導の他に職業訓練指導、悩みごとに対する指導などを行うとともに、刑務所の保安警備の任にも当たっていました。その中で、私は主に昼夜間勤務を行っており、業務内容の一例を挙げると、受刑者が生活している居室の点検、受刑者の健康状態のチェック、受刑者が居室から作業を行う工場までの間の引率、面会、入浴、運動、医務室等への引率、所内のルールに違反していないかの確認や保安が維持されているかの確認のための巡回といった多岐に亘って業務を行っていました。

平成30年11月に処遇部門から総務部庶務課に配置換え（内部異動）となり、現在は主に文書係として、公文書の接受や発送・保存・施設内の情報端末管理、電話交換等の業務などの窓口業務を行っています。

◇仕事の流れ（代表的な一日の動き）

処遇部門で勤務していたころは、日勤の場合、午前7時過ぎには出勤し、7時30分からの職員点検（朝礼）後、あらかじめ指定された配置箇所での処遇現場勤務（受刑者の引率、食事、運動の立会い等）を行い、午後5時30頃退庁していました。夜勤（通常4日に1回、4交替制勤務）の場合は、1時間ほど遅れて午前8時過ぎに出勤し、8時30分からの職員点検後、日勤同様、各配置箇所での処遇現場勤務後、午後4時30分



からは夜勤体制に入り、受刑者が生活している居室棟での巡回勤務を行います。受刑者の就寝時間帯（午後9時から翌朝午前6時30分までの間）も、4時間30分の仮眠時間を挟んで、巡回勤務を行った後、午前8時30分頃に退庁します。現在配置されている庶務課では、午前8時30分から45分間の昼休憩を挟んで午後5時まで庶務課業務を行っています。私はまだ行っていませんが、場合によっては夜間や休日の保安事務当直に就くこともあります。

仕事のやりがい（嬉しかったこと、つらかったこと）

処遇部門勤務時代を中心に書きますがこの仕事は「人相手」なので、精神的・肉体的にハードな面があります。その反面、各種諸手当や福利厚生等、経済的に優遇されていますので安心した生活が送れるとともに、時間や自己の管理が自然と身に付くので規則正しい生活も送れます。

仕事上の成功談や失敗談

刑務官は処遇系業務でも総務系業務でも基本的にチームで勤務しています。私が夜勤部に所属していた頃の失敗談としては、勤務で得られた情報を交替勤務者への引き継ぎを忘れてしまったことがありました。情報の引き継ぎを忘れてしまうとチームを始めとする勤務者に多大な迷惑を掛けてしまうので大いに反省しました。それ以来、大事なことはもちろんのこと、ささいなことでも常にメモを取り、確実に情報を伝達するよう心掛けています。

この勤め先を選んだ理由

本学で刑務官の業務説明会があり、そこで初めて刑務官という仕事を知りました。未知な世界なだけに不安もありましたが大学生活で培ったチームワークを大切にすること、周囲の状況によって行動できる力を刑務官で発揮したいと思い選びました。

この仕事に必要なもの（スキル、能力など）

刑務官の仕事は一人では成り立ちません。上司や先輩、同期との情報共有や助け合いがないと達成できないのでコミュニケーション力が必要不可欠だと思います。また、夜勤では仮眠時間はあるとはいえ実質24時間拘束されますので体力はもちろんのこと精神力があるかどうかも求められます。

今後の目標

現在は庶務課で勤務していますが、いずれ処遇部門勤務になることもあります。近年高齢受刑者や外国人受刑者が増えてきています。特に外国人受刑者は言葉がうまく伝わらず対応に苦慮することもあります。自分自身で解決できることは自分で処理し解決が難しい時にはすぐに上司や先輩に相談・質問するといった判断力、対応能力をもっと身に付けていきたいです。なお、刑務官の階級は、看守・看守部長・副看守長・看守長等となっており、中等科・高等科等の研修に競争試験で入所することにより、キャリアステップすることができます。



就職活動へのアドバイス

まずは自分が後悔しないためにもしっかり企業の下調べや説明会・見学に参加し積極的に行動してください。勉強と就職活動が重なって“しんどい、企業なんてどこでもいい”と諦めてしまいそうな時があると思います。しかし焦らず、自分のペースで困ったことがあったらキャリアセンターに相談したり、ハローワークに行ったりと一人で悩まず問題を抱え込まないでください。